

文献目録〔3〕 2017年

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/821

文献目録〔3〕二〇一七年

雑誌

本文献目録は、二〇一七年に雑誌、新聞などに発表された能・狂言関係の記事のうち、執筆者の明確なものを原則に、次の要領で情報を掲載するものである。

タイトル、執筆者あるいはコラム名など、掲載誌あるいは出版社など、括弧内に発行月など、頁数、を順に掲げた。

関係記事を網羅すべく努めたが、時間的制約もあり、遺漏も多いと思われる。今後、補完できればと考えている。

本目録については、公演パンフレットの記事も対象にしたいという希望があります。各種ご教示、情報提供、ご執筆分の抜刷等に加えて公演パンフレットがありましたら、能楽資料センターまでお寄せいただければ幸いです。

○能苑逍遥六九 寛正五年五月一日の薪猿楽関係記事再読 天野文雄 おもて(大概能楽堂) 131(1)3

○観世文庫の文書94 天保三年日記 江

口文恵 観世84-1(1)1

○御題小謡 野 小倉和夫・観世清和 観世84-1(1)1

○年の初めに 観世清和 観世84-1(1)2

○御題小謡「野」解題 小倉和夫 観世84-1(1)1

○巻頭随筆 ビデオゲームの遊び 上村雅之 観世84-1(1)2

○謹記 能の本(三十四) 関寺小町(中) 林望 観世84-1(1)3

○仕舞講座 老松キリ 観世清和 観世84-1(1)3

○新連載 能楽モノがたり(一) 鐘① —書かれた鐘、詠まれた鐘 福井栄一 観世84-1(1)4

○連載 徳川家康の政治戦略と能⑤ 天下人への道と聚楽勧進能 宮本圭造 観世84-1(1)6

○新作能『鎮魂』上演次第 笠井賢一 観世84-1(1)1

○六麓会例会報告《207》 大山 観世84-1(1)1

○巻頭言 ウロコの神秘 村尚也 橘香 62-1(1)1

○エッセー 東京オリンピックを考える 金子直樹 橘香62-1(1)2

○寄稿文 伝統芸能が災害に対してなしうること(六)「能楽の心と癒やしプロジェクト」の活動について 八田達弥 橘香62-1(1)1

○新年のご挨拶 片山九郎右衛門 京都観世会館会報誌 能704(1)1

○喜多実の「横道萬里雄先生への提言」について 青木道喜 京都観世会館会報誌 能704(1)1

○森川莊吉と大連能楽殿・水道橋能楽堂 王冬蘭 藝能史研究 216(1)15

○例会発表要旨 新出「狂言絵合せかるた」絵札を読む 藤岡道子 藝能史研究 216(1)2

○例会発表要旨 森川莊吉と大連能楽殿・水道橋能楽堂 王冬蘭 藝能史研究 216(1)2

- 特集 老 KENSYO 1003 (1) 1
 ○年のはじめに 茂木七左衛門 国立能楽堂 401 (1) 1
 ○証言・能楽史 能を見た人びとの記録 273 中臣祐範記 慶長六年二月七日・十三日 岩崎雅彦 国立能楽堂 401 (1) 1
 ○そつとこれを伝える 中山可穂 国立能楽堂 401 (1) 2
 ○西哲生の【聞き書き】近代能楽私史◎巻五十一 野村萬氏が語る、能・狂言の伝承と名手名人たち 野村萬・西哲生 国立能楽堂 401 (1) 6
 ○能楽講座 狂言面1 小田幸子 国立能楽堂 401 (1) 1
 ○能役者は五十歳で一人前。萎れた美しさ、しなやかさを舞台で表現したい。野村四郎 コミュかる (杉並区) 29 (1) 1
 ○円満井談義 それ 神は人の敬うようにつて威を増し、人は神の加護によれり 金春安明 金春月報38 1 (1) 1
 ○能の表現 今月の演目(兼平)から 後藤和也 金春月報38 1 (1) 1
 ○明窓浄机 学界通信 倉持長子 金春月報38 1 (1) 1
 ○特集 藤田美術館の名宝 藤田美術館のコレクション 藤田家の事業と収集 前野絵里 淡交 711 1 (1) 11
 ○新年のご挨拶 観世鏡之丞 鏡仙 666 (1) 1
 ○研究十二月往来(348) 能の敵討ち物における「本望」 伊海孝充 鏡仙 666 (1) 2
 ○能楽対談 第五八二回 新能楽堂、春に 観世清和・村上湛 能楽タイムズ 778 (1) 2
 ○批評と感想 仇討・斬組の能二番 十一月の能・狂言から 西哲生 能楽タイムズ 778 (1) 1
 ○「杜若」の能 泉嘉夫 能楽タイムズ 778 (1) 1
 ○平塚市における復曲能「伏木曾我」 森村進 能楽タイムズ 778 (1) 1
 ○晩秋の能 村瀬和子 能楽タイムズ 778 (1) 2
 ○【秋の愛知】宇高道成「黒塚・白頭」と辰巳満次郎「安宅」 飯塚恵理人 能楽タイムズ 778 (1) 1
 ○能楽タイムズ 平成28年索引① 能楽タイムズ 778 (1) 1
 ○年の初めに 観世清和 能・スケジュール (観世) 618 (1) 1
 ○エッセイ 老後の初心 坂東玉三郎の〈京鹿子娘五人道成寺〉 村上湛 能・スケジュール (観世) 618 (1) 2
 ○観世能楽堂 GNZA SIX に移転 能・スケジュール (観世) 618 (1) 1
 ○巻頭言 多田富雄作「長崎の聖母」に思う 岩波智代子 花もよ 29 (1) 1
 ○能評 十月・十一月の能 いずみ玲 花もよ 29 (1) 4
 ○舞台随想 次世代への応援 金子直樹 花もよ 29 (1) 2
 ○能・狂言 演出の萃点 29 能狂言はどこへ向かうのか 高桑いづみ 花もよ 29 (1) 2
 ○芸談 諸先輩に学んで 梅若万三郎 花もよ 29 (1) 4
 ○能、非、評 雪は降り 柳は朽ちて：村尚也 花もよ 29 (1) 1
 ○能の現代 29 (道成寺) 昼と夜の間 三宅晶子 花もよ 29 (1) 1
 ○誌上討論 受け継いだもの、伝えていくこと (新春篇) 中堅能楽師の考え

- る心と技芸の伝承 武田孝史・佐野由
於・今井泰行・朝倉俊樹・金井雄資・
金森秀祥・藤井雅之・東川光夫・辰巳
満次郎・佐野登 宝生44(1)8
- 花に逢う 能の中の美意識 手塚雄二
宝生44(1)3
- 実践講座 しっかり覚える宝生の仕舞
第14回 宝生和英 宝生44(1)2
- 実践講座 基本からつくる宝生の謡
第23回 宝生和英 宝生44(1)2
- 知るも知らぬも： 能の一席 第19回
東川光夫 宝生44(1)3
- 特集 謡曲・妖怪精霊考(二木一草之
巻) 内田高洋 宝生44(1)8
- 能・狂言と地歌箏曲(その五(八
島) 三浦裕子 尺八音楽雑誌・流報
189(1)2
- 観世文庫の文書95 世意深集 柳生石
舟斎伝歌 深澤希望 観世84(2)2(1)
- 巻頭随筆 「引き算の世界」に惹かれ
て 植田一博 観世84(2)2(2)
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂
開場にあたって 観世能楽堂開場報道
発表会より(一) 観世84(2)2(2)
- 謹訳 能の本(三十五) 関寺小町
- (下) 林望 観世84(2)2(4)
- 仕舞講座 雲林院クセ 観世清和
観世84(2)2(3)
- 特別エッセイ 西歳によせて―夜の鳥
山折哲生 観世84(2)2(6)
- 能楽モノがたり(二) 鐘②―名鐘に逢
う 福井栄一 観世84(2)2(4)
- 連載5 能楽と職人たち―作り物
田村民子 観世84(2)2(5)
- 国立能楽堂能楽(三役) 研修制度につ
いて 観世84(2)2(2)
- 越賀義隆師 追悼 観世84(2)2(1)
- 異色の修羅能「伏木曾我」の復曲 伊
海孝充 観世84(2)2(1)
- 流友自適 禅竹の美意識を堪能する
坂田文一郎 観世84(2)2(1)
- 六麓会例会報告《2008》 中尾 観
世84(2)2(1)
- 巻頭言 一刀斎 佐藤聰明 橘香62
(2)1
- エッセイ 能の身体動作を楽しむ
(其の十七) 竹内海四郎 橘香62(2)
- 寄稿文 伝統芸能が災害に対してなし
うること(七)「能楽の心と癒やしプ
ロジェクト」の活動について 八田達
弥 橘香62(2)2(1)
- 京都と大倉流 大倉源次郎 京都観世
会館会報誌 能705(2)1
- 書籍紹介 「紅葉する老年 旅人木喰
から家人トルストイまで」 青木道
喜 京都観世会館会報誌 能705
(2)1
- 演者が訪れる能の史跡(二十一)「海
士」 大江信行 京都観世会館会報誌
能705(2)2
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録
274 中臣祐範記 慶長八年二月十
日 岩崎雅彦 国立能楽堂402(2)
- わが体験的晩年充実論 「能はすこい
ぞ 万能だ 心は爽やか 身は軽く」
久保庭啓一郎 国立能楽堂402(2)
- 特集 近代日本画と能 上村松園
《焰》と松岡映丘《屋島の義経》と
鶴見香織 国立能楽堂402(2)4
- 能楽講座 狂言面2 小田幸子 国立
能楽堂402(2)1
- 円満井談義 自然なもの 金春康之

- 金春月報38-2(2)1
- 能の表現 今月の演目〈光の素足〉から 後藤和也 金春月報38-2(2)1
- 明窓浄机 学界通信 深澤希望 金春月報38-2(2)1
- 上半期特集 花和尚随想 般若面―怨念と悟り 田中文雄 金春月報38-2(2)3
- 円満井戸端会議 徒然なるままに 佐藤俊之 金春月報38-2(2)1
- 「金春の能 上 中世を汲む」 刊行記念インタビュー 前編 金春安明宗家・森瑞枝・本田芳樹 金春月報38-2(2)2
- 「装束の出来るまで」 第一回 村岡聖美 金春月報38-2(2)2
- 漱石と能楽―謡えばわかる! 安田登・いとうせいこう 新潮(2)14
- 研究十二月往来(349) 『九院仏閣抄』のなかの阿古屋の松 佐藤三男 鏡仙667(2)2
- 花書と茶花史 第二回 花道思想の芽生え、『専応口伝』と『専栄伝書』 井上治 なごみ446(2)4
- 特色ある共同研究拠点の整備推進事業
- 機能強化支援 白井史人 NEWS LETTER (早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点) 7(2)4
- 能楽対談 第五八三回 憧れをもつて 亀井広忠・山中玲子 能楽タイムズ779(2)2
- 月岡芳年と能(二) 「和漢百物語 清姫」 日野原健司 能楽タイムズ779(2)1
- 批評と感想 時系的に追いかけて―十二月の舞台から 村尚也 能楽タイムズ779(2)2
- 関西の舞台から それぞれの客気 澤木政輝 能楽タイムズ779(2)1
- シテの品格・催しの充実 年末年始の能 飯塚恵理人 能楽タイムズ779(2)1
- 能楽タイムズ 平成28年索引② 能楽タイムズ779(2)1
- 古典文学の現代語訳について―越境する古典― 竹本幹夫 早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点 主催 シンポジウム 越境する 翻訳・翻案・異文化交流(報告書)(2)8
- 天人と羽衣―翻訳と翻案― サカエ・ムラカミリヅル 早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点 主催 シンポジウム 越境する 翻訳・翻案・異文化交流(報告書)(2)7
- 論文 狂言《濯ぎ川》のもう一つの演出―武智鉄二の狂言の原点を探る試み 茂山(善竹) 忠亮 アート・リサーチ(立命館大学) 17(3)10
- 日露戦争三十周年と芸能―その実態と背景意図 多田英俊 演劇学論叢(大阪大学) 16(3)22
- 「エッセイ」 近代能楽集「卒塔婆小町」における詩人の死 中尾薫 演劇学論叢(大阪大学) 16(3)24
- 「葛巻昌興日記」 所引能楽記事稿(貞享三年正月・二月・三月) 入口敦士・江口文恵・田草川みずき・深澤希望・柳瀬千穂・竹本幹夫 演劇研究(早稲田大学) 40(3)23
- EVENT REPORT 野村萬斎トーク ショー 狂言とシエイクスピア 越智雄磨 演劇博物館報 enpaku book 113(2)
- PICK UP! エンパクの様々な取り組み 日本の伝統芸能 出張体験講座

- 戸田うらら 演劇博物館報 *enpaku book 1-16* (3) 1
- 『仮名手本忠臣蔵』における陰囃子の演出—大序・『天王立下り羽』を例に鎌田紗弓 音楽文化学論集(東京藝術大学) 7(3) 11
- 表現に込められた演者の思い—能のコトバ 技法の現在 高桑いづみ 楽劇学 24(3) 12
- 狂言のコトバ—野村万作師に聞く 野村万作・羽田昶 楽劇学 24(3) 15
- 〔書評〕 Alison Tokita(時田アリン) 著 Japanese Singers of Tales: Ten Centuries of Performed Narrative 『日本の「物語の歌い手たち」—上演される語り物の千年の流れ』 藤田隆則 楽劇学 24(3) 6
- 〔書籍紹介〕山中玲子編集 『能楽の現在と未来』 能楽研究叢書 5 三浦裕子 楽劇学 24(3) 3
- 〔書籍紹介〕小林准士校訂 『高根県立図書館蔵 御囃子日記』 能楽資料叢書 4 三浦裕子 楽劇学 24(3) 3
- 〔書籍紹介〕神戸女子大学古典芸能研究センター編 『能面を科学する 世界』 能の仮面と演劇』 西野春雄 楽劇学 24(3) 3
- 〔書籍紹介〕大槻文蔵監修・天野文雄編集 『世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ—12人の専門家が「世阿弥」を語る講演・対談集』 石井倫子 楽劇学 24(3) 2
- 〔書籍紹介〕平野英俊著 『評論 日本身体表現史—古代・中世・近世』 濱口久仁子 楽劇学 24(3) 3
- 〔書籍紹介〕武蔵野大学能楽資料センター編 『能・狂言映像史研究序説』 松本雅 楽劇学 24(3) 3
- 学会記録 第九二回例会 横道萬里雄 楽劇学の再検証—創作編 羽田昶 楽劇学 24(3) 1
- 学会記録 第二四回大会 寺田詩麻 楽劇学 24(3) 1
- 観世文庫の文書 96 文政八年書上 中司由起子 観世 84-3(3) 1
- 巻頭随筆 観世能楽堂と花鏡プロジェクト 織田紘二 観世 84-3(3) 2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂開場にあたって 観世能楽堂開場報道発表会より (一) 観世 84-3(3) 2
- 謹記 能の本(三十六) 老松(上) 林望 観世 84-3(3) 4
- 仕舞講座 右近キリ 観世清和 観世 84-3(3) 2
- 【特別企画】観世信光没後五〇〇年華やかに、劇的に、観世信光の世界元祖《ヴェジュアル系》、信光 岩崎雅彦 観世 84-3(3) 8
- 能楽モノがたり(三) 太刀①—なぜ折れたのか 福井栄一 観世 84-3(3) 4
- 連載 15 野村四郎の能楽よもやま話 「大慈大悲」 野村四郎 観世 84-3(3) 2
- 連載 徳川家康の政治戦略と能⑤(最終回)〈源氏供養〉を忘む家康 宮本圭造 観世 84-3(3) 7
- 大槻能楽堂復曲能〈星〉の初演について 村上湛 観世 84-3(3) 1
- 流友自適 前橋市と二つの演能 手島仁 観世 84-3(3) 1
- 巻頭言 演者と観客の融合—能楽堂 松田存 橘香 62-3(3) 1
- エッセー 「全身能楽家」リチャード・エマート 三輪令子 橘香 62-3(3) 2

- 報告 学校巡回事業について (一)
橘香 62-3(3) 1
- 寄稿文 伝統芸能が災害に対してなしていること(八)「能楽の心と癒やしプロジェクト」の活動について 八田達弥 橘香 62-3(3) 1
- 横道萬里雄先生のお仕事―能はどうして美しいのか 西野春雄 京都観世会館会報誌 能 706(3) 1
- 梅若万三郎氏インタビュー 河村晴道 京都観世会館会報誌 能 706(3) 2
- 特別寄稿 神の「すがた」考 折口信夫の学説に沿って 西村亨 藝能 23(3) 28
- 日本の舞台芸術を知る 2016 能・狂言 各種多彩な能楽公演 西哲生 国際演劇年鑑 2017 世界の舞台芸術を知る Theatre Yearbook 2017 Theatre Abroad-3(3) 9
- 関屋俊彦教授 略年賦 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 9
- 関屋俊彦教授著述目録(抄) 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 10
- 長州藩鷲流における「改作」の問題―江山本「差出租父」をめぐる― 稲田秀雄 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 14
- 和泉流改正狂言小考―三宅本・万蔵家本・藤江本紹介・検討― 田口和夫 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 17
- 新架蔵『能間』について 関屋俊彦 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 9
- 『狂言六義』における依頼談話の構造 森勇太 国文学(関西大学国文学会) 101(3) 16
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録 275 中臣祐範記 慶長九年二月四日 岩崎雅彦 国立能楽堂 403(3) 1
- 土地と人の絆を結び直す 橋本麻里 国立能楽堂 403(3) 2
- 特集 阿古屋松、木と神とは出会う 松岡心平 国立能楽堂 403(3) 4
- 能楽講座 狂言面 3 小田幸子 国立能楽堂 403(3) 1
- 円満井談義 なにかハッピーなこと 本田光洋 金春月報 38-3(3) 1
- 能の表現 今月の演目〈高砂〉から 後藤和也 金春月報 38-3(3) 1
- 上半期特集 花和尚随想二 西行桜一 仏教と月の暦 田中文雄 金春月報 38-3(3) 3
- 「金春の能 上 中世を汲む」刊行記念インタビュー 後編 金春安明宗家・森瑞枝・本田芳樹 金春月報 38-3(3) 1
- 明窓浄机 学界通信 鶴澤瑞希 金春月報 38-3(3) 1
- 能面 小面 赤鶴一透斎吉成作 篠山能楽資料館蔵 中西薫 紫明 40(3) 3
- 観世座と伊賀―「幽玄」以前― 宮本圭造 紫明 40(3) 8
- 「幽玄」という語の変位を計る 小林千草 紫明 40(3) 4
- 幽玄へのいざなひ、二十三《野宮》試解―間狂言本が示す世界― 飯塚恵理人 紫明 40(3) 5
- 第19回能楽セミナー「能をめぐる学際研究」所感 御法川学 JOURNAL(野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 1
- レポート 第19回能楽セミナー「能

- をめぐる学際研究」中司由起子
 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 1
- レポート 笑いは国境を越える 茂山家×なごみ狂言会チエコ 東京公演
 深澤希望 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 1
- レポート 国語学から見た能楽伝書
 深澤希望 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 1
- レポート シンポジウム「近世大名家の能道具が語るモノガタリ」中司由起子
 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 1
- 2016年度採択公募型共同研究概要
 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 2
- 活動報告 2016年度テーマ設定型共同研究
 JOURNAL (野上記念法政大学能楽研究所 共同研究拠点「能楽の国際・学際研究拠点」) 6(3) 2
- 研究十二月往来(350)「狂言(鞍馬参)小考 田口和夫 鏡仙 668 (3) 2
- 能「羽衣」と世阿弥 三苦佳子 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 「女郎花」を描く地獄 橋場夕佳 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 「狂言古画帖」再検 藤岡道子 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 拙稿「越前出目家の各代当主の推定生年」の訂正について 保田紹雲 東海能楽研究会年報21(3) 3
- 鴻山文庫蔵「能囃子出勤覚」人物考察 佐藤和道 東海能楽研究会年報21(3) 4
- 大正から昭和戦前までの観世流謡曲免状の発行 飯塚恵理人 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 研究ノート 徳川家康と北条氏政の酒宴の肴舞について 延広由美子 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 日本人の笑いと芸能 林和利 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 【資料紹介】薩摩藩能楽資料「起證文前書之事」 林和利 東海能楽研究会年報21(3) 2
- 修士論文 能の「平ノリ」地拍子における実践研究―現行運用と拍の伸縮性を中心に― 坂東愛子 東京藝術大学音楽学部楽理科卒業論文 東京藝術大学大学院音楽研究科音楽学専攻修士論文 音楽学研究領域博士論文要旨―2016年度―(3) 2
- 世界を舞台にした能の宣教師に 松井彬・リチャード・エマート News Digest 1479 (3) 3
- 語りとセリフが混交するとき―世阿弥の神能と修羅能を考える― 竹内晶子
 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3) 30
- 玉屋謡本の研究(三)―新出の古活字玉屋謡本伝本の紹介 伊海孝充 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3) 23
- 国語教科書と能楽(続) 佐藤和道
 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3) 36
- 【拠点企画・紀州獅子の復元】「御世話筋秘曲」の解説と復元の記録 山中玲子 能楽研究(野上記念法政大学能

- 楽研究所) 41(3)22
- 【拠点企画・紀州獅子の復元】「御家石橋」の成立と相伝の経緯 宮本圭造 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)28
- 研究展望(平成二十五年) 伊海孝充・石井倫子・江口文恵・表きよし・小林健二・高橋悠介・竹内晶子・豊島正之・宮本圭造・山中玲子 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)29
- 能楽展望(平成二十六年) 中司由起子 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)9
- 「笑いは国境を越える」解説 ヒーブル・オンジェイ 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)5
- 「秋田城介付」索引 秋田城介付研究会編 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)20
- Noh and Greek Tragedy Mae Smehurst 能楽研究(野上記念法政大学能楽研究所) 41(3)11
- 能楽対談 第五八四回 『謡講』十五年 井上裕久・澤木政輝 能楽タイムズ 780(3)2
- 批評と感想 一月の舞台から 珍しい作品と演出 松本雍 能楽タイムズ 780(3)2
- 見て聞いて思う 柳沢新治 能楽タイムズ 780(3)1
- 善竹忠亮の挑戦 『花の工房 禅』朝原広基 能楽タイムズ 780(3)1
- 冬の名古屋と大阪から 村瀬和子 能楽タイムズ 780(3)1
- 能楽タイムズ 平成28年索引③ 能楽タイムズ 780(3)2
- 宝生流シテ方 本間英孝氏逝去「お別れの言葉」 神主式二 能楽連盟報(新潟県能楽連盟) 103(3)1
- 巻頭言 葵祭と能 高橋良子 花もよ 30(3)1
- 能評 十二月・一月の能 いずみ玲花もよ 30(3)4
- 舞台随想 若手狂言師の第一歩 金子直樹 花もよ 30(3)2
- 能・狂言 演出の萃点 30日吉大社の翁神事 高桑いづみ 花もよ 30(3)2
- 芸談 気をかける 香川靖嗣 花もよ 30(3)4
- 能々非々評 雪は降り 三番の春の妄想 村尚也 花もよ 30(3)1
- 能の現代 30(葵上) 水暗き沢辺の蜩の影よりも光君 三宅晶子 花もよ 30(3)1
- 研究余録 金亀玉鶴 井伊直亮と拵 古幡昇子 彦根城博物館だより 116(3)1
- 誌上討論 受け継いだもの、伝えていくこと(陽春篇) 中堅能楽師の考える心と技芸の伝承 武田孝史・佐野由於・今井泰行・朝倉俊樹・金井雄資・金森秀祥・藤井雅之・東川光夫・辰巳満次郎・佐野登 宝生45(3)3
- 花に逢う 漫画と能楽と私 織田涼宝生45(3)3
- 本間英孝の逝去を悼む 宝生45(3)1
- 実践講座 しっかり覚える宝生の仕舞 第15回 宝生和英 宝生45(3)2
- 実践講座 基本からつくる「宝生の謡」第24回 宝生和英 宝生45(3)2
- 知るも知らぬも… 能の一席 第二十二回 東川光夫 宝生45(3)3
- 謡本から見た梅若家と観世喜之家… 近代観世流の節付改革 高橋葉子 武蔵

- 野大学能楽資料センター紀要28(3)
 34 ○舞台を彩る数々の催し―二〇一六年の能楽界 西哲生 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 5
- 「活動記録」二〇一六年度能楽資料センター公開講座・能楽研究講座・入門講座 三浦裕子 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 2
- 延暦寺―戦う僧侶・悪鬼退散 殿田謙吉・三浦裕子 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 17
- 泉涌寺―またまた勃発! 仏舍利盗難事件 和久壯太郎・生駒哲郎 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 19
- 西本願寺―いまに生きる歴史的能舞台 片山九郎右衛門・金子健 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 19
- 清水寺―折る心・籠る人びと 野村萬・池田英悟 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 13
- 観世流片山家の事績と芸統 羽田昶 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 17
- 太郎冠者の狂言ぶすぶすを科学する
- 油田正樹 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 13
- 能楽のいろは(うたおう! 舞おう! 能楽入門講座資料) 深澤希望 武蔵野大学能楽資料センター紀要28(3) 3
- 四季 粟谷能夫 粟谷能の会通信 阿吽41(春) 1
- 「融」を演じて―月の詩情に寄せた名曲 粟谷明夫 粟谷能の会通信 阿吽41(春) 2
- 我流『年来稽古条々』(38)―研究公演以降・その十六『伯母捨』『石橋』について 粟谷能夫・粟谷明夫 粟谷能の会通信 阿吽41(春) 5
- 二〇周年を迎えて 野村萬斎 シーズンラインアップ2017年度(世田谷パブリックシアター) 1
- 大槻文蔵にきく(一) 復曲能《美方》のこと 大槻文蔵・石淵文恵 おもて(大槻能楽堂) 132(4) 1
- 能苑逍遙 七〇 観世小次郎信光と五世観世大夫之重 天野文雄 おもて(大槻能楽堂) 132(4) 3
- 観世文庫の文書97 観世清親書き入れ 五番綴謡本 落合博志 観世84(4) 4
- 1 ○巻頭随筆 声の力 風間杜夫 観世84(4) 2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂開場にあたって 特別対談「観世能楽堂開場にあたって」(一) 観世清和・織田紘二 観世84(4) 6
- 謹訳 能の本(三十七) 老松(下) 林望 観世84(4) 3
- 仕舞講座 敦盛クセ 観世清和 観世84(4) 3
- 能楽モノがたり(四) 関―通すか通さぬか 福井栄一 観世84(4) 4
- 連載 能装束製作の現場から(十四) 佐々木洋次 観世84(4) 6
- 高橋弘師 追悼 観世84(4) 2
- 新作能(利休―江之浦) スペシャルインタビュー 氷川まりこ 観世84(4) 1
- 巻頭言 松野奏風・秀世と鏡板の画文 小林保治 橘香62(4) 1
- 特別対談 芸術祭大賞受賞について 梅若万三郎・三上紀史 橘香62(4) 2
- エッセー「お面Omen」次元のペル

- ソナ」―二つのイベントから 佐藤慶子 橘香62-4(4)2
- 橘香会演者・特別寄稿 「隅田川」への道 長谷川晴彦 橘香62-4(4)2
- 橘香会演者・特別寄稿 木母寺の「梅若権現御縁起」と「梅若丸」絵巻 梅若泰志 橘香62-4(4)2
- 山めぐり 味方健 京都観世会館会報誌 能707(4)1
- 梅若万三郎氏インタビュー 河村晴道 京都観世会館会報誌 能707(4)1
- 帆足さん 竹村英雄 京都観世会館会報誌 能707(4)1
- 紹介 二〇一六年特別展「道成寺の縁起 伝承と実像」 小狐丸 藝能史研究217(4)1
- INTERVIEW NOH フキ方福王流 福王茂十郎 亀岡典子 KENSYO 104(4)1
- 能楽 NOTE 新たな歴史の幕開け 観世能楽堂 開場 KENSYO 104(4)1
- 特集 賑 KENSYO 104(4)1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録276 中臣祐範記 慶長九年四月十二日 岩崎雅彦 国立能楽堂404(4)1
- 「能は千番」と言うけれども… 齋木俊男 国立能楽堂404(4)2
- 特集 世阿弥周辺の能三題 ―(野守)〈采女〉(雲林院) 竹本幹夫 国立能楽堂404(4)4
- 能楽講座 狂言面4 小田幸子 国立能楽堂404(4)1
- 円満井談義 二〇二〇年東京オリンピックに向けて 高橋忍 金春月報38-4(4)1
- 能の表現 今月の演目(巴)から 後藤和也 金春月報38-4(4)1
- 上半期特集 花和尚随想三 泰山府君―泰山の神と冥界 田中文雄 金春月報38-4(4)3
- 「装束の出来るまで」第二回 面・装束周辺の歴史 林美佐 金春月報38-4(4)2
- 明窓浄机 学界通信 倉持長子 金春月報38-4(4)1
- 円満井戸端会議 河津桜 長谷川純子 金春月報38-4(4)1
- 研究十二月往来(351) たれ踏み
- そめて恋の道―「恋重荷」の恋の歌 岩崎雅彦 鏡仙669(4)2
- 花書と茶花史 第四回 奥深い幽玄と柔らかな幽玄「道開花伝書」 井上治なごみ448(4)4
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる第四場 早く下手になれ 田中佐太郎 なごみ448(4)4
- 能楽対談 第五八五回 次世代に伝えたい 高橋章・江島弘志 能楽タイムズ781(4)2
- 能楽協会の著作権関連事業への取り組みについて 公益社団法人能楽協会著作権関連委員会 能楽タイムズ781(4)1
- 土岐善麿の新作能「鶴」を観る会 石田裕 能楽タイムズ781(4)1
- 祝賀の能と狂言―大濠公園能楽堂開館三〇周年記念公演 飯塚恵理人 能楽タイムズ781(4)1
- 批評と感想―二月の舞台から 歴史的感性と能・狂言の現在 みなもところう 能楽タイムズ781(4)2
- 復曲能「高安」の上演 金子直樹 能楽タイムズ781(4)1

- 夜鶴の遺声〜関根祥雪追悼 村上漣
能楽タイムズ 781(4)1
- 関西の舞台から 信光の能「星」復曲
澤木政輝 能楽タイムズ 781(4)1
- 能楽タイムズ 平成28年索引④ 能楽
タイムズ 781(4)1
- エッセイ 受け継がれる藝といのち
〜観世能楽堂開場記念公演に寄せて
村上漣 能・スケジュール(観世)
619(4)2
- 「二十五世観世左近記念 観世能楽
堂開場」にむけて 能・スケジュール
(観世) 619(4)1
- 《論文》日本舞踊における〈三番叟も
の〉の詞章分析と構成要素 吹田響子
Performing Arts Studies/舞台芸術研
究(日本大学) 22(4)26
- 《修士論文要旨》歌舞伎にみる「かつら
」の変容と不変性 上田薫 Performing
Arts Studies/舞台芸術研究(日本大
学) 22(4)4
- 《修士論文要旨》古典芸能にみる「見
立て」文化―扇による「見立て」
を中心に 峰岸優衣 Performing
Arts Studies/舞台芸術研究(日本大
- 学) 22(4)5
- 良識という仮面をつけた、曲者が棲
息した社会 安東伸元 大和座通信
122(4)6
- 能・狂言と地歌箏曲〜その六(放下
僧) 三浦裕子 尺八音楽雑誌・流報
190(4)2
- 観世文庫の文書98 徳峰書 一休江口
題頌 原瑠璃彦 観世84-5(5)1
- 巻頭随筆 迷考雑考 稀音家義丸 観
世84-5(5)2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂
開場にあたって 特別対談「観世能楽
堂開場にあたって」(二) 観世清和・
織田紘二 観世84-5(5)7
- 謹訳 能の本(三十八) 姥捨(上)
林望 観世84-5(5)4
- 仕舞講座 花筐狂 観世清和 観世84
-5(5)4
- 能楽モノがたり(五)橋―渡りたけれ
ども 福井栄一 観世84-5(5)4
- 新連載 近代能楽のわざと表現(一)
横山太郎 観世84-5(5)7
- 関根祥六師 追悼 観世84-5(5)4
- 〈高安〉の復曲上演―もう一人の待つ
- 女 今泉隆裕 観世84-5(5)1
- 巻頭言 観世能楽堂の門出 児玉信
橘香62-5(5)1
- 報告 学校巡回事業について(二)
橘香62-5(5)1
- エッセイ 江戸時代の民衆と能 佐藤
直陽 橘香62-5(5)1
- 藤田流の起り 藤田六郎兵衛 京都
観世会館会報誌 能708(5)1
- 二十九年「面白能楽館」の楽しみ
方 味方玄 京都観世会館会報誌 能
708(5)1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録
277 中臣祐範記 慶長九年十一月
十三日・十四・十五日 岩崎雅彦 国
立能楽堂405(5)1
- 「日本人に生まれてよかった!」能
楽実演体験のすすめ 山根節 国立能
楽堂405(5)2
- 特集 土岐善麿と新作能―〈綾鼓〉
を中心に 三浦裕子 国立能楽堂
405(5)4
- 能楽講座 式三番面1 小田幸子 国
立能楽堂405(5)1
- 円満井談義 報告 金春康高 金春月

- 報38-5(5)1
- 能の表現 今月の演目(盛久)から後藤和也 金春月報38-5(5)1
- 上半期特集 花和尚随想四 三輪|楯とは何か 田中文雄 金春月報38-5(5)3
- 明窓浄机 学界通信 深澤希望 金春月報38-5(5)1
- 岡満井戸端会議 大きな区切り 山井綱雄 金春月報38-5(5)1
- 研究十二月往来(352) 力動風再考 三宅晶子 鏡仙670(5)2
- 万葉集自習張 処女塚と求塚 近藤ようこ なごみ449(5)4
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる第五場 初心忘るべからず 田中佐太郎 なごみ449(5)4
- 明治期における能楽専用施設の観客席空間 辻慎一郎・光井渉 日本建築学会計画系論文集82-735(5)5
- 能楽対談 第五八六回『金春の能』の刊行 金春安明・竹本幹夫 能楽タイムズ782(5)2
- 万作・萬斎の「月見座頭」を観る 竹尾邦太郎 能楽タイムズ782(5)1
- 批評と感想 流儀の藝の骨格(三月の舞台から 村上湛 能楽タイムズ782(5)2
- 若手能楽師に聞く能の楽しみ 石田裕能楽タイムズ782(5)1
- 不条理性を舞台に表現するということ —塩津哲生・大槻文蔵(楳天狗) 山縣正幸 能楽タイムズ782(5)1
- 書評 辰巳満次郎監修『能の本』 西哲生 能楽タイムズ782(5)1
- 「戦国時代展」で能公演 京都文化博物館 澤木政輝 能楽タイムズ782(5)1
- 能評 二月・三月の能 いずみ玲花 もよ31(5)4
- 舞台随想 能楽の普及 金子直樹花 もよ31(5)2
- 能・狂言 演出の萃点 31近世芸能の囃子 高桑いづみ 花もよ31(5)2
- 我が青春の狂言師人生 星丘泰男花 もよ31(5)4
- 能々非々評 月夜の蓑笠 村尚也花 もよ31(5)1
- 能の現代 31(鶴)美しさへのこだわり 三宅晶子 花もよ31(5)1
- 平家物語を語り、鎮魂していく舞台 野村萬斎・辛酸なめ子 婦人画報(5)2
- 太郎冠者になる 一日狂言教室 野村万蔵・嶋川有紀 婦人画報(5)6
- 実演用能装束の保存継承に関する研究―能楽の包括的継承の一指針として(本編) 菊池理予 他 平成26年度(平成29年度) 科学研究費 挑戦的萌芽研究(報告書)(5)73
- 実演用能装束の保存継承に関する研究―能楽の包括的継承の一指針として(資料編) 菊池理予 他 平成26年度(平成29年度) 科学研究費 挑戦的萌芽研究(報告書)(5)100
- 特集 色々の冠り物(1) 宝生46(5)7
- 花に逢う ああ、勿体ない、失敗した三遊亭兼好 宝生46(5)3
- 実践講座 基本からつくる「宝生の謡」第25回 宝生和英 宝生46(5)2
- 実践講座 しっかり覚える宝生の仕舞第16回 宝生和英 宝生46(5)4
- 知るも知らぬも… 能の一席 第二十一回 東川光夫 宝生46(5)3
- 大蔵流狂言 附子・菌(こども)たちをホンモノの舞台芸術の世界へ 蒔田

- 裕美 音楽現代(6)1
- 観世文庫の文書99 観世重成宛 金森宗和書状 江戸初期 中野顕正 観世84(6)1
- 巻頭随筆 稽古ということ 寺田英視 観世84(6)2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂 開場にあたって 銀座の町と座 ― 観世大夫が代々暮らした土地の履歴 岡本哲志 観世84(6)8
- 謹訳 能の本(三十九) 姥捨(下) 林望 観世84(6)4
- 仕舞講座 班女クセ 観世清和 観世84(6)3
- 能楽モノがたり(六) 琵琶―力をも入れずして天地を動かす 福井栄一 観世84(6)4
- 連載5 能の説話・伝承 『道成寺』をめぐって―『道成寺縁起絵巻』の周縁(1) 徳田和夫 観世84(6)6
- 連載 能装束製作の現場から(十五) 佐々木洋次 観世84(6)4
- 流友自適 海辺の能楽2017 ―忘れぬ3・11追悼とこれからの希望を込めて 庄子隆弘 観世84(6)1
- 流友自適 能楽紹介公演を台湾で行う 志賀勝正 観世84(6)1
- 六麓会例会報告《209》 中嶋 観世84(6)1
- 巻頭言 名君と観能 佐藤直陽 橘香62(6)1
- エッセー 能の身体動作を楽しむ(其の十八) 竹内海四郎 橘香62(6)2
- 観世信光と『源氏物語』 樹下文隆 京都観世会館会報誌 能709(6)1
- チャリテイ能―被災地復興、京都からの祈り 浦田保親 京都観世会館会報誌 能709(6)1
- 演者が訪れる能の史跡(二十二)「阿漕」 浦部好弘 京都観世会館会報誌 能709(6)2
- ご挨拶 井上裕久 京都薪能(パンフレット) 68(6)1
- 篝火と焚火と人類 尾池和夫 京都薪能(パンフレット) 68(6)2
- 神出鬼没 幽冥巡礼 鎌田東二 京都薪能(パンフレット) 68(6)1
- 神様に一番近い芸能 桂米團治 京都薪能(パンフレット) 68(6)1
- 神戸女子大学古典芸能研究センター平成二十二年度―平成二十八年度のおゆみ 山崎敦子 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)10
- 【特別講座要旨】古典芸能研究センター特別講座「あの世への想像力―日本人の死生観―能が描く地獄の諸相 樹下文隆 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)2
- 〈資料紹介〉神戸女子大学古典芸能研究センター蔵「謡道歌巻」二種 樹下文隆 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)9
- 江崎家旧蔵資料 横山柚人より江崎欽次朗直康あて書簡・葉書十四通(下) 長田あかね 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)12
- 〈研究ノート〉なぜ能ではお辞儀をしないのか? 藤田隆則 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)20
- 〈研究ノート〉謡曲《書写鏡》について 大山範子 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)12
- 【特別企画報告】公開研究会「伝統と現代をつなぐもの―民俗芸能と古典芸

- 能」川森博司 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要11(6)3
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録278 中臣祐範記 慶長九年九月二十一日 岩崎雅彦 国立能楽堂406(6)1
- 紫式部と世阿弥く王朝文化と東山文化の邂逅と開花 山本壮太 国立能楽堂406(6)2
- 西哲生の【聞き書き】近代能楽私史◎巻五十二 高林白牛口二氏が語る、京都と喜多流の能 高林白牛口二・西哲生 国立能楽堂406(6)6
- 能楽講座 式三番面2 小田幸子 国立能楽堂406(6)1
- 円満井談義 温故知新 久保田葵美 金春月報38(6)1
- 能の表現 今月の演目(熊坂)から後藤和也 金春月報38(6)1
- 上半期特集 花和尚随想四 弱法師——一行阿闍梨淨き名もつけ 田中文雄 金春月報38(6)3
- 「装束の出来るまで」第三回 金春家伝来の唐織の模織 中村昌弘 金春月報38(6)1
- 研究十二月往来(353)「夢幻能」のフィルタを外す―世阿弥晩年期以降の幽霊能のヴァリエーション 重田みち 銀仙671(6)2
- 観世、銀座へ還る。観世清和 東京人(6)2
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる第六場 時分の花 田中佐太郎 なごみ450(6)4
- 研究ノート 近代能楽観世流のフシの統一ウキをめぐる―高橋葉子 日本伝統音楽研究(京都市立芸術大学)14(6)2
- 活動報告2-2 客員研究員「能の略式演奏の歴史と現在」 高橋葉子 日本伝統音楽研究(京都市立芸術大学)14(6)2
- 活動報告2-2 客員研究員「能の略式演奏の歴史と現在」 丹羽幸江 日本伝統音楽研究(京都市立芸術大学)14(6)2
- 能楽鑑賞教室の開催にあたって 茂木七左衛門 能楽鑑賞教室(国立能楽堂(パンフレット))34(6)1
- 能楽対談 第五八七回 能の音楽の創造と未来 一噌幸弘・大倉源次郎 能楽タイムズ783(6)2
- 「見て聞いて思う」新・観世能楽堂が楽しみ 柳沢新治 能楽タイムズ783(6)1
- 書評 羽田昶「昭和の能楽名人列伝」―名人の秘花を証す 馬場あき子 能楽タイムズ783(6)1
- 批評と感想 賑わいの春く四月の舞台から 金子直樹 能楽タイムズ783(6)2
- 「巻絹」二曲ほか 村瀬和子 能楽タイムズ783(6)1
- 弁慶の披キ 老女の披キ 澤木政輝 能楽タイムズ783(6)1
- 野村萬歳がプロデュース 世田谷パブリックシアター開場20周年記念公演 網本尚子 能楽タイムズ783(6)1
- 研究余録 金亀玉鶴 松原湊の米宿 渡辺恒一 彦根城博物館だより117(6)1
- 大槻文蔵にきく(二) 復曲能《甚》再演の面白さ 大槻文蔵・石淵文恵 おもて(大槻能楽堂)133(7)1
- 能苑逍遙 七一《葵上》における

- 「生霊」御息所の描かれ方 天野文雄
おもて(大槻能楽堂) 133(7)3
- 観世文庫の文書100 「采女」詞章
注釈 江戸中期 家原彰子 観世84-
7(7)1
- 巻頭随筆 型のある空間 佐藤光 観
世84-7(7)2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂
開場にあたって おかえりなさい 観
世能楽堂 村瀬和子 観世84-7(7)4
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂
開場にあたって 観世能楽堂 開場-
観世、銀座へ還る 観世84-7(7)4
- 謹記 能の本(四十) 実盛(上) 林
望 観世84-7(7)4
- 仕舞講座 班女舞アト 観世清和 観
世84-7(7)3
- 能楽モノがたり(七) 門―ここで会った
が百年目 福井栄一 観世84-7(7)4
- 連載16 野村四郎の能楽よもやま話
「舞台を磨(研)く」野村四郎 観世
84-7(7)1
- 連載 近代能楽のわざと表現(二)
横山太郎 観世84-7(7)6
- 六麓会例会報告《210》 大山 観
世84-7(7)1
- 巻頭言 天衣無縫の舞姫 長嶺ヤス子
三輪令子 橘香62-7(7)1
- エッセー 能(道成寺)と歌舞伎舞踊
「京鹿子娘道成寺」三宅晶子 橘香62-
1(7)2
- 特別寄稿 徒雲はどこへ消えたか
万三郎が謡う官能(上) 村尚也 橘
香62-7(7)2
- 【特別支援学校授業レポート】 鈴木啓
吾 九阜38(7)2
- 《鷹姫》への道―能に触発されたイギ
リスの詩劇の翻案 西野春雄 京都観
世会館会報誌 能710(7)1
- 《新茂山忠三郎(五世)インタビュ
ー》 茂山忠三郎・片山伸吾 京都観
世会館会報誌 能710(7)2
- 演者が訪れる能の史跡(二十三)「盛
久」 古橋正邦 京都観世会館会報誌
能710(7)2
- 狂言に見る祇園会風流―「闇罪人」
を中心に 稲田秀雄 藝能史研究
218(7)15
- INTERVIEW KYOGEN 狂言師 野村
万作 前田みづ恵 KENSYO-105(7)
- 能楽NOTE 一度は観ておきたい名作
シリーズ 能「定家」 KENSYO-105
(7)1
- 特集 麗 KENSYO-105(7)1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録
279 中臣祐範記 慶長十年六月三
日・十二日 岩崎雅彦 国立能楽堂
407(7)1
- 能の人物造形 五味文彦 国立能楽堂
407(7)1
- 特集 音阿弥が演じた能 小田幸子
国立能楽堂 407(7)4
- 能楽講座 能・狂言面余説1 小田幸
子 国立能楽堂 407(7)1
- 田満井談義 退屈 金春康之 金春月
報38-7(7)1
- 上半期特集 花和尚随想六 歌占―地
獄の曲舞 田中文雄 金春月報38-7
(7)3
- 能の表現 今月の演目(朝長)から
後藤和也 金春月報38-7(7)1
- 連載 観能のための曲目解説1111
藤栄 金春安明 金春月報38-7(7)2
- 明窓浄机 学界通信 倉持長子 金春

- 月報38―7(7)1
- 研究十二月往来(354)「殺生石」と源翁禪師の事蹟 天野文雄 鏗仙 672(7)3
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる第七場 教えることで教えられたこと 田中佐太郎 なごみ 451(7)4
- 小説 能楽ものがたり 狐師とその妻―善知鳥(一) 澤田瞳子 なごみ 451(7)8
- 能楽対談 第五八八回 時代によってかわる 三島元太郎・高桑いづみ 能楽タイムズ 784(7)2
- 晩春の中京・関西能楽公演より 飯塚恵理人 能楽タイムズ 784(7)1
- 批評と感想 発酵とサラダ〜五月の舞台から 村尚也 能楽タイムズ 784(7)2
- 根津美術館の特別展示と「山姥」の上演 高橋良子 能楽タイムズ 784(7)1
- 陶酔と隔絶―大槻文蔵「実方」山縣正幸 能楽タイムズ 784(7)1
- 御薪能 今駒清則 能楽タイムズ 784(7)1
- エッセイ 日本画を見るところ 村上湛 能・スケジュール(観世) 620(7)2
- 二十五世観世左近記念 観世能楽堂 開場 能・スケジュール(観世) 620(7)1
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 大会企画にあたって 三宅晶子 能と狂言(能楽学会) 15(7)2
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 室町期の武士と源氏物語 小川剛生 能と狂言(能楽学会) 15(7)13
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 能の構想力と『源氏物語』 高橋亨 能と狂言(能楽学会) 15(7)9
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 能作者の観た空蟬と落葉の宮 藤原克己 能と狂言(能楽学会) 15(7)10
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 源氏物語と能楽研究 山中玲子 能と狂言(能楽学会) 15(7)11
- 特集 『源氏物語』と能―享受と創成 全体討議 小川剛生・高橋亨・藤原克己・山中玲子・三宅晶子 能と狂言(能楽学会) 15(7)16
- 【論文】能《当麻》の主題と構想 中野顕正 能と狂言(能楽学会) 15(7)13
- 【論文】金春家本面の復元 宮本圭造 能と狂言(能楽学会) 15(7)17
- 【テーマ研究】室町後期の能を考える―信光・長俊・禅風 室町後期の五山文学 堀川貴司 能と狂言(能楽学会) 15(7)9
- 【テーマ研究】金春禅風の文化的背景―作品と伝書から 石井倫子 能と狂言(能楽学会) 15(7)16
- 【研究ノート】宝生大夫の京都屋敷―観世大夫家・大徳寺との関わりから 江口文恵 能と狂言(能楽学会) 15(7)9
- 【研究ノート】弘治三年の駿府の「観世大夫」は宗節か―戦国期における観世座の地方下向望見 天野文雄 能と狂言(能楽学会) 15(7)8
- 【紹介】神戸女子大学古典芸能研究センター編『能面を科学する―世界の仮面と演劇』 佐藤嘉惟 能と狂言(能楽学会) 15(7)1
- 【紹介】大槻文蔵・監修 天野文雄・編集『世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ』

- 鷓澤瑞希 能と狂言(能楽学会) 15(7)
 1
 ○【紹介】小林千草著『幕末期狂言台本の総合的研究 大藏流台本編』戸田健太郎 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【紹介】京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター編『謡を樂しむ文化―京都の謡の風景』奥山けい子 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【例会ノート】関西例会・第二十六回 能楽フォーラム 福王流の歴史と芸風
 ②―福王茂十郎に聞く―大谷節子 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【例会ノート】東京例会 大倉源次郎「小鼓を通してみる能楽のひろがり」鷓澤瑞希 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【例会ノート】関西例会・第二十七回 能楽フォーラム この人に聞く―関西大学収蔵能楽文書をめぐって 西瀬英紀 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】能の「幽霊」再考―室町時代における諷誦文の検討を通して 芳野貴典 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】わざの継承と型付 横山太郎 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】イロ再考―二段落トシとイロ 高桑いづみ 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】作品研究〈籠祇王〉―元雅作としての位置づけ 深澤希望 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】幕末期大藏流台本「悪太郎」の実態と声による復元 小林千草 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○【研究発表要旨】「平家」物の能と「源平盛衰記」〈知章〉を読む 山下宏明 能と狂言(能楽学会) 15(7) 1
 ○巻頭言 変わるまいとするもの 山崎浩太郎 花もよ32(7) 1
 ○能評 四月・五月の能 いずみ玲 花もよ32(7) 4
 ○舞台随想 春の嵐 金子直樹 花もよ32(7) 2
 ○能・狂言 演出の萃点 32合奏の話 高桑いづみ 花もよ32(7) 2
 ○真剣勝負・富士山麓月下の交流 星丘高良 花もよ32(7) 4
 ○能々非々評「ボン」の満足感 村尚也 花もよ32(7) 1
 ○能の現代 32〈野守〉鬼が舞う能 三宅晶子 花もよ32(7) 1
 ○特集 宝生流、ふるさとへ―奈良・桜井の地で里帰り公演を開催(国文祭・なら2017) 宝生47(7) 6
 ○宝生流の里帰り公演に寄せて 辰巳満次郎 宝生47(7) 1
 ○花に逢う 能面に魅せられ、能面を魅せる 海老澤るりは 宝生47(7) 3
 ○実践講座 基本からつくる「宝生の謡」第26回 宝生和英 宝生47(7) 2
 ○実践講座 しっかり覚える宝生の仕舞 第17回 宝生和英 宝生47(7) 4
 ○知るも知らぬも： 能の一席 第二十二回 東川光夫 宝生47(7) 3
 ○能・狂言と地歌箏曲―その七(七七小町) (一) 三浦裕子 尺八音楽雑誌・流報191(7) 2
 ○観世文庫の文書101 むかし名をえし者 室町後期 小林健二 観世84 18(8) 1
 ○巻頭 お能を詠む 水原亜矢子 観世84 8(8) 2

- 謹記 能の本(四十一) 実盛(中) 林望 観世84-8(8)3
- 仕舞講座 融キリ 観世清和 観世84-8(8)3
- 【特集】音阿弥・没後五五〇年 音阿弥の生涯(一)―足利義教と音阿弥 松岡心平 観世84-8(8)7
- 能楽モノがたり(八)牛車に乗って降りて 福井栄一 観世84-8(8)4
- 連載6 能の説話・伝承 『道成寺』をめぐって―『道成寺縁起絵巻』の周縁(2) 徳田和夫 観世84-8(8)6
- 連載 能装束製作の現場から(十六) 佐々木洋次 観世84-8(8)4
- 復曲『吉備津宮』記念公演 高橋悠介 観世84-8(8)1
- 六麓例会会報告『211』 大山 観世84-8(8)1
- 巻頭言 『暑い夏には伝統芸能従事者の身体に』 三輪えり花 橘香62-8(8)1
- エッセー なぜ左足から出るのか 柳沢新治 橘香62-8(8)2
- 京都観世能 特別企画『観世鏡之丞インタビュー①』 観世鏡之丞・味方玄
- 京都観世会館会報誌 能711(8)1
- 「京都観世能」に向けて① 人民もただ安らかに 井上裕久 京都観世会館会報誌 能711(8)1
- 書籍紹介 『新全訳古語辞典』 青木道喜 京都観世会館会報誌 能711(8)1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録 280 中臣祐範記 慶長十年二月五日・十四日 岩崎雅彦 国立能楽堂 408(8)1
- 随筆 昔の思い出 稀音家義丸 国立能楽堂 408(8)2
- 能楽講座 能・狂言面余説2 小田幸子 国立能楽堂 408(8)1
- 円満井談義 生涯稽古 本田光洋 金春月報38-8(8)1
- 明窓浄机 学界通信 深澤希望 金春月報38-8(8)1
- 能の表現 今月の演目(景清)から 後藤和也 金春月報38-8(8)1
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる 第八場 稽古の心得 田中佐太郎 なごみ 452(8)4
- 小説 能楽ものがたり 狛師とその妻―善知鳥(二) 澤田瞳子 なごみ 452(8)8
- 能楽対談 第五八九回 秋に「関寺小町」 武田志房・羽田昶 能楽タイムズ 785(8)2
- 批評と感想 六月の舞台から さまざまな演出を楽しむ 見所 松本雍 能楽タイムズ 785(8)3
- 見て聞いて思う 柳沢新治 能楽タイムズ 785(8)1
- 関西の舞台から ババタレ腰の秘密 澤木政輝 能楽タイムズ 785(8)2
- インタビュー 曾和正博氏 古稀記念 能にむけて 曾和正博 能楽タイムズ 785(8)1
- 「考へる」を、「哲学する」と読む 安東伸元 大和座通信 123(8)7
- 観世文庫の文書102 「恋重荷」注 釈附謡本 江戸中期 倉持長子 観世84-9(9)1
- 巻頭随筆 『近代能楽集』と演出 三輪明宏 観世84-9(9)2
- 謹記 能の本(四十二) 実盛(下ノ一) 林望 観世84-9(9)3
- 仕舞講座 井筒キリ 観世清和 観世

- 84 9 (9) 2
- 【特集】音阿弥・没後五五〇年 音阿弥の生涯 (二) — 足利義教から義政へ 松岡心平 観世 84 9 (9) 9
- 能楽モノがたり (九) 石—物語る石 福井栄一 観世 84 9 (9) 4
- 連載 近代能楽のわざと表現 (三) 横山太郎 観世 84 9 (9) 6
- 六麓会例会報告《212》 大山 観世 84 9 (9) 1
- 巻頭言 歌の力 — 校歌と能の場合 三浦裕子 橘香 62 9 (9) 1
- エッセー この秋おすすめの能の本 檜常正 橘香 62 9 (9) 2
- 特別対談 著者「外国で能を教える」について 三上紀史 橘香 62 9 (9) 2
- 京都観世能 特別企画《観世鏡之丞イソタビュー②》 観世鏡之丞・味方玄 京都観世会館会報誌 能 71 2 (9) 1
- 十月二十二日「京都観世能」に向けて② 《鷹姫》に思うこと 片山九郎右衛門 京都観世会館会報誌 能 71 2 (9) 1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録 281 中臣祐範記 慶長十三年三月
- 一日 岩崎雅彦 国立能楽堂 4 0 9 (9) 1
- 能楽堂での透明な緊張感 小林保治 国立能楽堂 4 0 9 (9) 2
- 特集 能《烏帽子折》の祝言性 小林健二 国立能楽堂 4 0 9 (9) 4
- 能楽講座 作り物1 小田幸子 国立能楽堂 4 0 9 (9) 1
- 能の表現 今月の演目《二人静》から後藤和也 金春月報 38 9 (9) 1
- 明窓浄机 学界通信 鶴澤瑞希 金春月報 38 9 (9) 1
- 連載 観能のための曲目解説 11 2 道成寺 金春安明 金春月報 38 9 (9) 2
- 円満井談義 型ってなんだろう? 大澤久美子 金春月報 38 9 (9) 1
- 美の随想 能装束文様のこと—「雨夜の品定め」のこと 切畑健 紫明 41 (9) 7
- 幽玄へのいびき 二十四《誓願寺》 試解—間狂言のバリエーション 飯塚恵理人 紫明 41 (9) 6
- 紫明の藝術書紹介 神戸女子大学古典芸能研究センター編「能面を科学する 世界の仮面と演劇」 北見真智子 紫明 41 (9) 1
- 研究十二月往来《355》 長唄に聞く能の古態 高桑いづみ 鏡仙 67 3 (9) 2
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓に生きる第九場 継ぐ家を以て家とす 田中佐太郎 なこみ 45 3 (9) 4
- 小説 能楽ものがたり 狐師とその妻—善知鳥 (三) 澤田瞳子 なこみ 45 3 (9) 8
- 能楽対談 第五九〇回 能の将来を考える 福王茂十郎・村上湛 能楽タイムズ 78 6 (9) 2
- 名古屋の七月 三題 飯塚恵理人 能楽タイムズ 78 6 (9) 1
- 批評と感想 真夏の能、名演の数々々々 七月の舞台から 西哲生 能楽タイムズ 78 6 (9) 1
- シブウ国際演劇祭の The Feather Mantle & The Red-Faced Imp (「羽衣」と「猩々」)を見て みなもころう 能楽タイムズ 78 6 (9) 1
- MUGEN ∞ 能 福岡公園 坂口貴信のフォーエス 岡田利規 能楽タイムズ

- 786(9)1
- 「井筒」特別講座 シテ方四流の若手能楽師によるトークと実演 山口宏子 能楽タイムズ 786(9)1
- 子安神社 八王子薪能 駒井壮介 能楽タイムズ 786(9)1
- 能評 六月・七月の能 いずみ玲花 もよ33(9)4
- 舞台随想 能から何を感じ取るか 金子直樹 花もよ33(9)4
- 能・狂言 演出の萃点 33日本人のリズム感 高桑いづみ 花もよ33(9)2
- 芸談 縁 津村禮次郎 花もよ33(9)3
- 能々非々 評 ナレーションの言葉 村尚也 花もよ33(9)1
- 能の現代 33〈二人静〉シンクロする二人 三宅晶子 花もよ33(9)1
- 特集 囃子の話―「笛」編 宝生48(9)2
- 笛、つれづれなるままに 一噌庸二 宝生48(9)2
- 能管を作る 藤岡宥三 宝生48(9)2
- 実践講座 しつかり覚える宝生の仕舞 第18回 宝生和英 宝生48(9)2
- 実践講座 基本からつくる「宝生の謡」第27回 宝生和英 宝生48(9)2
- 花に逢う 舞の空間私論、あるいは能楽研究との出会いについて 横山太郎 宝生48(9)3
- 知るも知らぬも： 能の一席 第二十三回 東川光夫 宝生48(9)1
- 大槻文蔵にきく (三)と梅若玄祥さんにもきく 復曲能《松山天狗》のこゝと 大槻文蔵・石淵文恵 おもて(大槻能楽堂) 134(10)1
- 能苑逍遙 七二《経正》の作者について 天野文雄 おもて(大槻能楽堂) 134(10)3
- 観世文庫の文書 103 東照宮様 二百回御忌拝礼日光道中諸事之扣 江戸後期 天野文雄 観世84(10)1
- 巻頭随筆 鶴のあとさき 荻野アンナ 観世84(10)2
- 謹訳 能の本(四十三) 実盛(下ノ二) 林望 観世84(10)3
- 仕舞講座 通小町キリ 観世清和 観世84(10)3
- 【特集】音阿弥・没後五五〇年 晩年の音阿弥―仙洞演能をめぐって 小川剛生 観世84(10)8
- 能楽モノがたり(十) 珠―獲るか獲られるか 福井栄一 観世84(10)4
- 連載7 能と説話・伝承 『道成寺』をめぐって―『道成寺縁起絵巻』の周縁(3) 徳田和夫 観世84(10)6
- 連載 能装束製作の現場から(十七) 佐々木洋次 観世84(10)2
- 企業と伝統芸能 児玉信 橘香62(10)1
- エッセー 能の身体動作を楽しむ(其の十九) 竹内海四郎 橘香62(10)2
- 能「山姥」への挑戦 青木健一 橘香62(10)2
- 特別対談 著者『外国で能を教える』について(2) 三上紀史 橘香62(10)2
- 枕の諸相―和歌・早歌・能・小歌 植木朝子 京都観世会館会報誌 能713(10)1
- 演者が訪れる能の史跡(二十四)「大江山」 味方團 京都観世会館会報誌 能713(10)2
- 王祇祭及び黒川能の形成と大宝寺氏の庄内統治―寺社芸能・武家権

- 力・羽黒修験 重田みち 藝能史研究
219 (10) 18
- 資料紹介 長命茂兵衛家文書(三)
長田あかね 藝能史研究 219 (10) 18
- INTERVIEW NOH 笛方 森田流
松田裕之 北見真智子 KENSYO
106 (10) 1
- 特集 名 KENSYO 106 (10) 1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録
282 中臣祐範記 慶長十年二月八
日・十一日・三月十一日 岩崎雅彦
国立能楽堂 410 (10) 1
- 身近な国立能楽堂と伝承ホール
英一 国立能楽堂 410 (10) 2
- 能楽講座 作り物2 小田幸子 国立
能楽堂 410 (10) 1
- 円満井談義 祝 国民文化祭・全国障
害者芸術文化祭開催 金春穂高 金春
月報 38 (10) 1
- 能の表現 今月の演目〈融〉から 後
藤和也 金春月報 38 (10) 1
- 下半年特集 金春円満井会特別公演出
演者対談「石橋群勢」 深津洋子・村
岡聖美・柏崎真由子・林美佐・岩松由
実 金春月報 38 (10) 3
- 連載 観能のための曲目解説 113
道成寺続き 金春安明 金春月報 38
10 (10) 2
- 明窓浄机 学界通信 倉持長子 金春
月報 38 (10) 1
- 円満井戸端会議 習い物 井上貴寛
金春月報 38 (10) 1
- 句佛上人から金剛家へ今も伝わる長絹
のものがたり 縁の架け橋 金剛永護
JAPONisme 15 (10) 2
- 研究十二月往来(356) 『金鳥書』
に見える能登の神をめぐって―「能登
の名に負ふ国つ神」小考 山吉頌平
鍊仙 674 (10) 2
- 田中佐太郎ひとり語り 鼓の家 第十
場 田中佐太郎 なごみ 454 (10) 4
- 小説 能楽ものがたり 秋の扇―班女
(一) 澤田瞳子 なごみ 454 (10) 8
- 能楽対談 第五九一回 三期三役で会
を 大日方寛・山本泰太郎・竹市学・
羽田昶 能楽タイムズ 787 (10) 2
- 批評と感想 相舞の様式性と即興性
八月の能・狂言 みなもとごろう 能
楽タイムズ 787 (10) 2
- 『能・狂言鑑賞と教え方講座』を受講
して一人から人へ身体を通して伝える
学びの奥深さ 中西沙織 能楽タイム
ズ 787 (10) 1
- 関西の舞台から 帰ってきた忠三郎
澤木政輝 能楽タイムズ 787 (10) 1
- 【見て聞いて思う4】「子午線の祀
り」ほか 柳沢新治 能楽タイムズ
787 (10) 1
- 記念講演 謡曲にまつわる独説 齋藤
敏一 能楽連盟報(新潟県能楽連盟)
104 (10) 2
- 追悼 本間生相談役の逝去を悼む 小
林恆生 能楽連盟報(新潟県能楽連
盟) 104 (10) 1
- 五十嵐義一氏を偲んで 小倉忠夫 能
楽連盟報(新潟県能楽連盟) 104
(10) 1
- 石川嘉彦氏 追悼 古澤幸正 能楽連
盟報(新潟県能楽連盟) 104 (10) 1
- エッセイ「見たい人」と「見せたい
人」 村上湛 能・スケジュール(観
世) 621 (10) 2
- 650年続く様式美と心 梅若玄
祥・弟子との舞台 梅若玄祥 婦人画
報 104

- 大いなる「覚悟」をもって、六〇年を、今顧みる 安東伸元 大和座通信 124 (10)7
- 能・狂言と地歌箏曲とその七(七小町) (二) 三浦裕子 尺八音楽雑誌・流報192 (10)2
- 観世文庫の文書104 観世鉄之丞宛 片山九郎衛門豊尚書状 江戸末期 宮本圭造 観世84-11(11)1
- 巻頭随筆 夢 いろいろせいこう 観世84-11(11)2
- 謹訳 能の本(四十四) 弓八幡(上) 林望 観世84-11(11)4
- 仕舞講座 柏崎道行 観世清和 観世84-11(11)3
- 【特集】音阿弥・没後五五〇年 貴人に連なるということ 桜井英治 観世84-11(11)10
- 能楽モノがたり(十二)糸 運命をつなぐ 福井栄一 観世84-11(11)4
- 連載 近代能楽のわざと表現(十八) 横山太郎 観世84-11(11)6
- 私の橋懸り 杉本博司 観世84-11(11)2
- 能楽堂の将来 金子直樹 橘香62-11
- (11)1
- エッセー『脱皮』 佐藤慶子 橘香62-11(11)2
- 扇の話②:紅入鬘扇 福井藤次郎 京都観世会館会報誌 能714 (11)1
- 作り物の話 吉浪壽晃 京都観世会館会報誌 能714 (11)1
- 証言・能楽史 能を見た人びとの記録 283 能を見た人びとの記録 岩崎雅彦 国立能楽堂4-1-1(11)1
- 「吉備津」の能と神楽 神崎宣武 国立能楽堂4-1-1(11)2
- 特集 養老改元一三〇〇年 老いを養う薬の水 村瀬和子 国立能楽堂4-1-1(11)4
- 能楽講座 作り物3 小田幸子 国立能楽堂4-1-1(11)1
- ご挨拶 宮田亮平 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)1
- 支援と継承の道程 上野由部 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)2
- 衆人和楽の黒川能 馬場あき子 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)2
- 黒川能今むかし 増田正造 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)2
- 真壁仁の詩に魅かれて 船曳由実 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)2
- 黒川能と酒井家 酒井忠久 国立能楽堂特別企画公演 黒川能(11)2
- 円満月談義 女流能の行方 富山禮子 金春月報38-11(11)1
- 下半期特集 金春円満井特別公演出演者対談 本田光洋・善竹十郎 金春月報38-11(11)3
- 「装束の出来るまで」第四回 金春家伝来の唐織の模織(その二) 中村昌弘 金春月報38-11(11)2
- 連載 観能のための曲目解説114 唐船 金春安明 金春月報38-11(11)2
- 明窓浄机 ―学界通信 深澤希望 金春月報38-11(11)1
- 能の表現 ―今月の演目〈天鼓〉から後藤和也 金春月報38-11(11)1
- 研究十二月往来(357) その後の暮松新九郎―難波のことも夢のまた夢 宮本圭造 鏡仙675 (11)2
- 小説 能楽ものがたり 秋の扇―班女(二) 澤田瞳子 なごみ455 (11)8
- 芸の骨法・梅若万三郎と大槻文蔵の九月の能・狂言 村上湛 能楽タイムズ

- 787 (11) 2
- 《インタビュー》『笑いは国境を越える 茂山家×なごみ狂言会チエコ 東京公演』をおえて ヒーブル・オンジェイ (なごみ狂言会チエコ)・小田幸子 能楽タイムズ788 (11) 1
- 新作能舞 「三酔人夢中酔吟」を観る 宗片邦義 能楽タイムズ788 (11) 1
- 晩夏から初秋の東海および近辺の能飯塚恵理人 能楽タイムズ788 (11) 1
- 金春・金剛 異流共演の「二人静」 森村進 能楽タイムズ788 (11) 1
- 巻頭言 この素晴らしき世界 香川裕史 花もよ34 (11) 1
- 能評 八月・九月の能 いずみ玲花もよ34 (11) 4
- 舞台随想 嵐の中の『井筒』 金子直樹 花もよ34 (11) 2
- 能・狂言 演出の萃点 34柿本豊次師「勤来日記」から 高桑いづみ 花もよ34 (11) 2
- 能の現代 34〈野宮〉後場の不思議 三宅晶子 花もよ34 (11) 1
- 能、非、評 越境の海 村尚也 花もよ34 (11) 1
- 特集・佐渡の能舞台 花もよ34 (11) 4
- 宝生和英、ヴァチカンに舞う 宗教も国境も超えて 宝生和英 婦人画報 (11) 12
- 特集 判官物を探る 宝生49 (11) 7
- 宝生流発祥の地にての舞 宝生和英 宝生49 (11) 1
- 花に逢う 道具に魅せられて 田村民子 宝生49 (11) 3
- 実践講座 基本からつくる「宝生の謡」第28回 宝生和英 宝生49 (11) 2
- 実践講座 しっかり覚える宝生の仕舞 第19回 宝生和英 宝生49 (11) 2
- 知るも知らぬも： 能の一席 第24回 宝生和英 宝生49 (11) 3
- 美と品格を求めて 野村萬斎・麻美れい オール讀物 (12) 9
- 観世文庫の文書105 千虎画 番組絵 明治初期 黒沼歩未 観世84 (12) 1
- 巻頭随筆 月の羽衣 石田千 観世84 (12) 2
- 謹記 能の本 (四十五) 弓八幡 (中) 林望 観世84 (12) 4
- 仕舞講座 小鍛冶キリ 観世清和 観世84 (12) 3
- 【特集】音阿弥・没後五五〇年 対談 舞台に生きた観世大夫 音阿弥 (一) 観世清和・村上漣 観世84 (12) 6
- 能楽モノがたり (十二) 鳥居行くも帰るも別れては 福井栄一 観世84 (12) 4
- 連載8 能と説話・伝承 「道成寺」をめぐる―『道成寺縁起絵巻』の周縁 (4) 徳田和夫 観世84 (12) 6
- 連載 能装束製作の現場から (十八) 佐々木洋次 観世84 (12) 4
- 梅田邦久師 追悼 観世84 (12) 2
- 巻頭言 研能会九十周年を迎えて 田存 橘香62 (12) 1
- エッセー 栄華のありか 加藤敏 橘香62 (12) 1
- 一年の終りに 片山九郎右衛門 京都観世会館会報誌 能715 (12) 1
- 能面の不思議 夏目房之介 国立能楽堂412 (12) 2
- 特集 夏目漱石と能楽 日置俊次 国立能楽堂412 (12) 4
- 能楽講座 作り物4 小田幸子 国立

- 能楽堂 4 1 2 (12) 1
- 狂言の新作を書くということ 池澤夏樹 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 2
- 演出にあたって 野村萬斎 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 2
- 異界の誘惑 三浦雅志 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 2
- 小説「鮎」 池澤夏樹 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 8
- 「鮎」と池澤さんと白山麓澤村塾 辻原登 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 2
- 新作狂言への高まる期待 河合祥一郎 国立能楽堂特別企画公演 新作狂言 鮎(12) 2
- 円満井談義 小さなもの 大きなもの 金春康之 金春月報 38 | 12 (12) 1
- 下半期特集 金春円満井会特別講演 竹本幹夫 金春月報 38 | 12 (12) 3
- 明窓浄机 | 学界通信 鶴澤瑞希 金春月報 38 | 12 (12) 1
- 特集 能楽写真家対談 辻井清一郎・国東薫・本田布由樹 金春月報 38 | 12 (12) 2
- 連載 観能のための曲目解説 1 1 5 東方朔 金春安明 金春月報 38 | 12 (12) 2
- 能の表現 | 今月の演目〈松垣〉から 後藤和也 金春月報 38 | 12 (12) 1
- 円満井戸端会議 蘭蕙同芳 森瑞枝 金春月報 38 | 12 (12) 1
- 研究十二月往来〈3 5 8〉 山名宗全の勸進猿楽 松岡心平 鏡仙 6 7 6 (12) 2
- 小説 能楽ものがたり 秋の扇―班女 (三) 澤田瞳子 なごみ 4 5 6 (12) 8
- 補遺・越前出目家の系図の謎解き (上)―越前出目家各代の名前の混乱 保田紹雲 名古屋芸能文化 27 (12) 29
- 狂言共同社蔵『秘傳聞書』翻刻(八) 小谷成子・佐藤友彦・田崎未知・野崎典子・林和利・安田徳子・米田真理 名古屋芸能文化 27 (12) 15
- 英語圏留学生向け狂言鑑賞教材の作成―「盆山」を素材に ウィリアム・ペトルシヤック・飯塚恵理人 名古屋芸能文化 27 (12) 9
- 能楽対談 第五九二回 「感じる」ことが大切 野村四郎・石井倫子 能楽タイムズ 7 8 9 (12) 2
- 批評と感想 秋雨と台風と 十月の舞台から 金子直樹 能楽タイムズ 7 8 9 (12) 2
- 【見て聞いて思う5】 新作狂言「なごりが原」ほか 柳沢新治 能楽タイムズ 7 8 9 (12) 1
- 愛惜 大阪能楽会館 澤木政輝 能楽タイムズ 7 8 9 (12) 1

新聞記事

- ナマズのおちよこ 野村万作 日経 (11)
- 大蔵流・茂山千三郎、東京公演で「三番三」 8日 国立能楽堂 小玉祥子 毎日夕刊 (11)
- 能舞台上立つ 研修生募集 飯塚友子 産経 (11)
- 能「田村」 大槻文蔵 日経夕刊 (11)
- 伝統の笑いの芸、堪能を 狂言二流派が競演 篠塚健一 朝日石川 (11)
- 足運んで20年 唐津くんち 大槻文蔵 日経夕刊 (11)

- 居酒屋「N」 大槻文蔵 日経夕刊 (1/12)
- 来月4日、観世小次郎信光 没後500年記念特別公演 畑律江 毎日大阪夕刊 (1/12)
- 能装束の虫干し 大槻文蔵 日経夕刊 (1/13)
- 能面、異なる表情を見比べて 横須賀の南波さんら作品展 鎌倉 村山恵二 朝日湘南 (1/15)
- 東京五輪、能も盛り上がり 業界一丸をフエス第一弾 山根由起子 朝日夕刊 (1/16)
- 観世能楽堂：開場公演に「翁」など 小玉祥子 毎日夕刊 (1/23)
- 田中優子の江戸から見ると：能という日本文化 田中優子 毎日夕刊 (1/25)
- 「シリーズ人間国宝」能楽師大槻文蔵 普遍の魅力 未来へつなぐ 今岡竜弥 読売 (1/25)
- 能楽師 伶以野陽子さん＝香川 連博 司 読売大阪 (1/25)
- 囃子方企画の公演 相次ぎ開催 29日「TTR能プロジェクト」来月12日「阪神能楽囃子連盟調和会」畑律江 毎日大阪夕刊 (1/26)
- 能の五番・朝薫の五番：能「生贄」と組踊「孝行の巻」上演 来月、横浜で小玉祥子 毎日夕刊 (1/30)
- 能楽フェスティバル2017-2020 竹本幹夫 読売夕刊 (1/31)
- 世阿弥の世界、現代の視点で 山本能楽堂で「心は清経」畑律江 毎日大阪夕刊 (2/2)
- 能楽特別鑑賞会：にぎやかに 大阪・大槻能楽堂で18日 関雄輔 毎日大阪夕刊 (2/2)
- 綾鼓 人間の本質死者の眼で 坂成美保 読売大阪夕刊 (2/6)
- 能楽の世界に飛び込んでみて 国立能楽堂、次期研修生を募集 山根由起子 朝日夕刊 (2/16)
- 狂言「庵梅」の小舞「柴垣」 森恭彦 読売 (2/22)
- 難曲「伯母捨」100回の記念に喜多流、粟谷能の会 山根由起子 朝日夕刊 (3/2)
- 立合狂言会：流派超え東西の若手ら結集 畑律江 毎日大阪夕刊 (3/2)
- 神出鬼没！インパクト&ギャップ、能面活躍万能、面白い 鷹巣有希 日経MJ (3/3)
- 班女 扇は恋心 無心の舞 坂成美保 読売大阪夕刊 (3/6)
- 復曲能「阿古屋松」梅若玄祥 東北の風景を心に 森重達裕 読売夕刊 (3/7)
- 茂山狂言会：先人の思い、継ぐは我ら 節目の50周年、初回の番組再演 関雄輔 毎日大阪夕刊 (3/9)
- 上方伝統芸能DE歴史塾：武将にまつわる能、文楽、講談 畑律江 毎日大阪夕刊 (3/9)
- 山口耕道さん、こどもたちに狂言指導 鶴飼真 朝日神戸 (3/14)
- 字幕メガネで能を楽しむ 山根由起子 朝日夕刊 (3/16)
- 古典芸能：「流される」テーマに競演 大阪 山田夢留 毎日大阪夕刊 (3/16)
- 観世が銀座に還ります 観世清和 日経 (3/19)
- 伝統芸能とハイテク、融合 山根由起子 朝日 (3/21)

- 面作り、衰えぬ探求心 鷹見正之 朝日愛知 (3/25)
- 金沢能楽会別会能「鷲」 井上秀樹 朝日石川 (3/29)
- 茂山狂言会50周年記念「木六駄」年功の芸域 森西真弓 日経近畿 (3/29)
- 能と和歌：年間シリーズ公演、15日から開始 月1回「安達原」隅田川など 畑律江 毎日大阪夕刊 (4/13)
- 観世能楽堂20日開場 外国人や初心者にも優しく 飯塚友子 産経 (4/16)
- 「昭和の能楽名人列伝」≡羽田昶・著 渡辺保・評 毎日 (4/16)
- 傘寿の至芸、能楽の2名手 野村四郎 山本東次郎 米原範彦 朝日夕刊 (4/20)
- 能は気楽に 眠りもまたよし 観世清和 日経 (4/23)
- 大阪能楽会館、今年末で閉館 向井大輔 朝日大阪 (4/25)
- 大阪能楽会館：12月閉館 民間運営老朽化など 畑律江 毎日大阪 (4/25)
- 新・観世能楽堂の音響・照明 旅川雅治 読売夕刊 (4/28)
- 観世能楽堂（東京都中央区）——150年ぶり銀座に帰還 安部大至 日経 (4/29)
- 大坪喜美雄の会・大曲「鸚鵡小町」小玉祥子 毎日夕刊 (5/1)
- 観世能楽堂開場記念公演「道成寺」力強くスピード感 竹本幹夫 読売夕刊 (5/9)
- 幻想の舞「第47回姫路城新能」伊藤周 朝日播磨 (5/13)
- 第42回川崎大師新能 白井那央子さん 谷口剣太 読売 (5/18)
- 新御能、英語版ガイドも 佐藤圭司 朝日奈良 (5/19)
- 薪御能：古都に初夏彩り 奈良 中津成美 毎日大阪 (5/20)
- 難見の見 能の余白に思い重ねて 芸術に求める魂の救済 亀岡典子 産経 (5/21)
- 舞台は世界、能の伝道師—内弟子修業後海外へ活路、50の国・地域で公演 松井彬 日経 (5/22)
- 「葵上」など現代語で紹介 「能の本」出版 今岡竜弥 読売大阪夕刊 (5/22)
- 「ハリズ人間国宝」シテの感情生かすイキと間 能楽太鼓方 三島元太郎 倉岡明菜 読売 (5/24)
- 人間国宝の「蠟燭能」500人堪能 成田山新勝寺 根岸敦生 朝日千葉 (5/25)
- フィンランドで能が原作のオペラ上演 「文化往来」日経 (5/25)
- 能はレクイエム、そして未来への祝福 観世清和 日経 (5/28)
- 梅若玄祥さん もっと攻めていきたい 日経夕刊 (5/29)
- 悼む 関根祥雪さん 男気と繊細 併せ持ち 三浦裕子 毎日 (5/29)
- 「狂言やぐらんぼ」桜が生えた男 切ない笑い 今岡竜弥 読売大阪夕刊 (5/29)
- 鎮魂、名取ゆかり能と狂言 石橋英昭 朝日宮城 (5/30)
- 大阪・山本能楽堂が90周年記念公演 「文化往来」日経 (5/30)
- 新潟・佐渡 能が根付く島 さずな深める地域の舞台 井上航介 日経夕刊 (5/31)

- 「大仏くらべ」大笑い 東大寺で創作
狂言 田島知樹 朝日奈良 (6/4)
- 偉大な祖父の芸談 鶴澤寛太郎・茂山
童司 朝日夕刊 (6/5)
- 金沢能楽美術館 謡を写し幽玄の世界
へ 石川 真崎隆文 読売 (6/8)
- 若手能楽師3人、家超えて定期公演
〔文化往来〕 日経 (6/9)
- 多言語音声ガイドや英語公演 歌舞伎
や能、外国人客にらむ 小山雄嗣 日
経夕刊 (6/12)
- 「伊勢」と「源氏」の能2作、名手が
競演 〔文化往来〕 日経 (6/15)
- 野村万之丞襲名公演 倉岡明菜 読売
大阪夕刊 (6/19)
- 祖父の妻み、会得めやす 茂山茂 日
経近畿 (6/20)
- 老若男女楽しめる芸能を 善竹隆司
日経近畿 (6/21)
- 狂言・野村万之丞襲名披露 来月1日
「萬狂言・大阪公演」 畑律江 毎日大
阪夕刊 (6/22)
- ろうそく能・夏の恒例 朗読と復曲能
来月8日・大阪 畑律江 毎日大阪夕
刊 (6/22)
- アイルランドで「八雲」狂言 民話基
に千五郎さん来月上演 島根 坂根薫
読売大阪 (6/22)
- 狂言師野村萬斎さん 古典と現代融
合、はみ出す表現者に 上原克也 日
経 (6/25)
- 能と狂言、魅力に迫ろう 三田で実力
派が講演 藤井匠 朝日三田 (6/28)
- 三田ゆかりの能・狂言味わって、藤井
匠 朝日神戸 (6/29)
- 兄弟狂言会・舞台間近・親しみやすい
曲で 善竹隆司・隆平 畑律江 毎日
大阪夕刊 (6/29)
- 兄弟狂言会・茂山千五郎・茂「傳の
会」息子たちも出演 関雄輔 毎日
大阪夕刊 (6/29)
- 興福寺の勸進能、15年で幕 中沢義則
日経夕刊 (7/1)
- 世阿弥が描く普遍性、ワグナーに通
じる 観世清和 日経 (7/2)
- 能を知る 警固でワークショップ 小
原智恵 朝日福岡 (7/3)
- 能楽教室通う小6、プロと共演 平井
君、9日の舞台「歌占」に出演 宮田
富士男 朝日福岡 (7/3)
- 日本文化でくつろぐ 京王プラザ、能
楽や盆栽イベント 清水孝輔 日経M
J (7/7)
- 能楽「難曲」に挑む、能楽堂改修へ
補助金活用、演者減少で一般から公募
小橋弘之・小山雄嗣 日経 (7/8)
- 離見の見 芸の魂の継承 亀岡典子
産経 (7/9)
- 能の解説端末―シーンごと変わるペー
ジ、簡潔な説明、舞台身近に 奥津茜
日経MJ (7/10)
- 野村万蔵「信長占う」 史実もとに新
作狂言 森重達裕 読売夕刊 (7/11)
- 狂言の万蔵×歴史の磯田道史 第一弾
は信長と生年月日が同じ男 山根由起
子 朝日夕刊 (7/13)
- 野村万蔵新作「信長占う」 狂言で演
じる戦国武将 兼松康 産経 (7/16)
- 夏季狂言の会・野村万作・萬斎親子、
大濠公園能楽堂で 渡辺亮一 毎日西
部 (7/16)
- 新作能・親子で見える楽しい扉開けてみ
よう 京都観世会館「桃太郎」大槻
能楽堂「光」 畑律江 毎日大阪夕刊
(7/20)

- 「湖国と文化」夏号 テーマは「文学・能楽・文楽の風土」 岡本洋太郎 朝日滋賀 (7/21)
- 文化審答申・大倉源次郎さん人間国宝 能楽の和の心世界に 小玉祥子 毎日 (7/22)
- 能 普及へ宝生和英「実験」 森重達裕 読売夕刊 (7/23)
- 「シリーズ人間国宝」能楽囃子方大鼓 亀井忠雄 浅川貴道 読売 (7/26)
- 能狂言 言葉を超える 森重達裕 読売 (7/31)
- アメフト選手に稽古 理にかなった能の動き 観世清和 日経 (8/6)
- 能×和太鼓 幽玄のリズム 倉岡明菜 読売大阪夕刊 (8/7)
- 能楽4流派、ゆかりの地・奈良県で公演 「文化往来」 日経 (8/8)
- 「能楽一歩深く」 楽しみ方大解剖 篠塚健一 朝日石川 (8/9)
- 狂言：大曲「武悪」に小笠原匡挑戦 小玉祥子 毎日夕刊 (8/9)
- 刺激し合う能と現代演劇 畑律江 毎日大阪夕刊 (8/17)
- TTR能プロジェクト：15周年特別公演「定家」 関雄輔 毎日大阪夕刊 (8/17)
- 熊本、狂言で再生の物語 石牟礼さん「なごりが原」 上原佳久 朝日夕刊 (8/23)
- 能舞台×ダンスの創造 中村恩恵 「新たな動き探る」 安部美香子 朝日夕刊 (8/26)
- 石牟礼道子さん「なごりが原」 野村萬斎初の舞台化 帆足英夫 読売西部 (8/26)
- 再生の物語、萬斎さん上演 上原佳久 朝日熊本 (8/27)
- 能と狂言の人間国宝共演 野村四郎が李白 山本東次郎が白楽天 森重達裕 読売夕刊 (8/29)
- 狂言：人間国宝・野村万作「橋山節考」 動き一しに深い思い 畑律江 毎日大阪夕刊 (8/31)
- 狂言：五世茂山忠三郎、6年ぶり当主名 父の七回忌に襲名披露 関雄輔 毎日大阪夕刊 (8/31)
- 今秋も延岡城跡で幽女の舞 吉田耕一 朝日宮崎 (9/1)
- 宵宮には子ども狂言披露 奈良市・八坂神社 古沢範英 朝日奈良 (9/3)
- なごりが原・生と死の循環違う世界観を 渡辺亮一 毎日西部 (9/3)
- 山本能楽堂の挑戦 山本麗晃・茂山竜司 朝日夕刊 (9/4)
- 茂山狂言会、33年ぶり「若市」 岡田慶子 朝日夕刊 (9/5)
- 茂山狂言会：秋の恒例 33年ぶりの「若市」も 関雄輔 毎日大阪夕刊 (9/7)
- 能の普及実り始める(徳島) 高橋京子 読売大阪 (9/7)
- 始めよう！能楽鑑賞 有名な題材・解説付きも 観世喜正 読売 (9/9)
- 名取熊野三山、謎めく老女伝説 石橋英昭 朝日宮城 (9/10)
- 石牟礼さん作、幻想的狂言 野村萬斎さん出演 上原佳久 朝日 (9/10)
- 愛犬から学ぶ、心と身のこなし 観世清和 日経 (9/10)
- 能楽 新たな表現 広がる可能性 今秋からコラボ企画相次ぐ 蓮見朱加 神奈川 (9/13)
- 400年伝わる謡曲、能に志賀海神社の「わたつみ」、18日大濠公園で初

- 演 小原智恵 朝日福岡夕刊 (9/15)
- 観世流能楽師・片山九郎右衛門の「檜垣」―父・幽雪の教え、追善で舞う 小橋弘之 日経大阪夕刊 (9/22)
- 能 県内で広めたい山口剛一郎さん＝佐賀 上高原毅 読売西部 (9/25)
- 大阪城で、2年ぶり薪能 向井大輔 朝日夕刊 (9/26)
- 大阪城薪能…かがり火の下、幻想的に 畑律江 毎日大阪夕刊 (9/28)
- 野村万作・萬斎、狂言で「檜山節考」 向井大輔 朝日夕刊 (10/3)
- 金春会定期能 能の何たるか見せる名舞台 竹本幹夫 読売夕刊 (10/3)
- 伝説の舞台大阪初上演 生と死をよりリアルに「檜山節考」和泉流狂言方・人間国宝 野村万作 亀岡典子 産経夕刊 (10/5)
- 能楽道本座「うめだ能」本拠地でのラスト公演に意欲 21日大阪能楽会館 産経夕刊 (10/5)
- 片山九郎右衛門…父の因縁「檜垣」 畑律江 毎日大阪夕刊 (10/5)
- 石牟礼道子さん作狂言「なつりが原」初演 帆足英夫 読売西部 (10/7)
- 能楽・京舞の魅力、東アジアに 13日と15日、二条城二の丸御殿で公演 大村治郎 朝日京都 (10/8)
- 一夜の伝統美 延岡で薪能 吉田耕一 朝日宮崎 (10/9)
- 「道成寺」原曲の「鐘巻」25年ぶり再演【文化往来】 日経 (10/12)
- 能楽堂、西宮・鳴尾に誕生へ 森田貴之 朝日阪神 (10/13)
- 家で作り家で食べる。その経験が食への敬意を育む 観世清和 日経 (10/15)
- 九郎右衛門、父追う挑戦 片山幽雪三 回忌追善公演で「檜垣」初演 向井大輔 朝日夕刊 (10/19)
- 優美な舞、住民の技 みやまで「新開能」 森川愛彦 朝日筑後 (10/19)
- 「うめだ能」、誕生地で 最後の公演 畑律江 毎日大阪夕刊 (10/19)
- 多様な表情、神秘の美を継承 能面師・後藤祐自さん、金沢で個展 須藤佳代子 朝日福井 (10/21)
- 大阪城本丸薪能 天女秋の夜に舞う 坂成美保 読売大阪夕刊 (10/23)
- 西宮・鳴尾に能楽堂開館へ 森田貴之 朝日神戸 (10/26)
- なつりが原 お狐さまがいた、あの頃 石牟礼道子 朝日 (10/26)
- 若い世代…狂言の魅力、笑ってもらえる(大阪) 茂山竜正 朝日 (10/27)
- 能の女十選(2)狩野春湖の能絵鑑「野々宮」 小林健二 日経 (11/2)
- 能の女十選(3)能絵鑑「井筒」 小林健二 日経 (11/3)
- 野村万作「三番叟」「無心」の境地求めて 亀岡典子 産経 (11/5)
- 浪花節は風前の灯火 真山隼人・茂山童司 朝日夕刊 (11/6)
- 能の女十選(4)「百万」絵巻(部分) 小林健二 日経 (11/6)
- 妻ふたり幻想の舞 今岡竜弥 読売大阪夕刊 (11/6)
- 藤堂高虎を題材に新作能 生誕地の滋賀・甲良町、制作へ 大野宏 朝日伊賀 (11/10)
- 狂言…野村萬斎演出・主演「鮎」 小玉祥子 毎日夕刊 (11/10)
- 能楽シテ方 金春流の宗家が交代 森重達裕 読売夕刊 (11/14)
- 「高砂」ゆかり鳴尾に能楽堂 長野祐

- 気 読売大阪 (11/14)
- 能楽師と元タカラジェンヌ共演 26日
大阪 向井大輔 朝日夕刊 (11/16)
- 万作を観る会・野村万作が牛盗人
玉祥子 毎日夕刊 (11/16)
- 能の世界へおいでやす テンポ良く
1時間で歴史や魅力伝える 河村純子
日経 (11/17)
- アートな謡本の世界に学ぶ生きざま
観世清和 日経 (11/19)
- 貞観園で能の舞、幽玄に 柏崎 渥美
好司 朝日新潟 (11/20)
- 三響会・豪華に20周年記念公演 小玉
祥子 毎日夕刊 (11/20)
- 茂山七五三 来月に古稀の会 新鮮・
気軽な狂言、一門で 小橋弘之 日経
大阪夕刊 (11/24)
- 囃子の存在感たっぷり 3兄弟の
「三響會」20年公演 米原範彦 朝日
夕刊 (11/25)
- 輪島塗+手漉き和紙 = 「鼓」音色は
まろやか、伝統技術で軽く頑丈に 板
倉吉延 朝日石川 (11/25)
- 忘れられた謡曲復活「温泉寺」 三百
数十年ぶり来年披露 藤本久格 朝日
- 但馬 (11/28)
- 能楽・金剛流二十六世宗家金剛永謹と
ん 能楽堂 京都で守り抜く 装束類
制作継承に危機感 小橋弘之 日経大
阪夕刊 (11/28)
- 輪島塗の技で和紙の鼓完成 石川、
試し打ちの会 板倉吉延 朝日富山
(11/29)
- 「能親しむ一歩となる場に」 西宮能
楽堂お披露目 吉沢英将 朝日神戸
(11/30)
- 能の未来は濃厚 対談 金剛龍謹・茂
山童司 朝日夕刊 (12/4)
- 断頭台へ向かう王妃、どう映るのか
梅若玄祥主演、新作能 米原範彦 朝
日夕刊 (12/7)
- 「政頼」伝承者として共感 野村萬斎
新春狂言 今岡竜弥 読売大阪夕刊
(12/11)
- 大曲の舞う、亡き父へ 能楽師・渡辺
茂人 「道成寺」地元・金沢で初披露
篠塚健一 朝日石川 (12/13)
- 時と人間、池澤夏樹が描く狂言 初の
書き下ろし「鮎」、国立能楽堂 米原
範彦 朝日夕刊 (12/14)
- 新春狂言、ふくおか「万作の会」万
作・萬斎父子、初笑い誘う 福岡県
上原佳久 朝日福岡 (12/14)